

# 歯科医学総合講義 2 : 635-2-DP1・DP2・DP3・DP4・DP8

年次	学期	学則科目責任者
2年次	後学期	*有川 量崇 (衛生学)

学修目標 (GIO) と単位数	<p>・学修目標 (GIO) : 社会の要請に応える創造性と人間性豊かで自立する全人的な歯科医師になるために、これまで講義や実習で学んだ内容を統合し、松戸歯学部 student doctor として必要な態度・知識・技能を修得する。</p> <p>・単位数 : 2</p>
担当教員	<p>*有川 量崇、*伊藤 誠康、岡田 裕之、*小峯 千明、*小見山 道、三枝 禎、*清水 武彦、泉福 英信、谷本 安浩、*根岸 慎一、*野本 たかと、平塚 浩一、*山口 秀紀、吉垣 純子、*青木 伸一郎、五十嵐 由里子、加藤 治、*小林 平、*鈴木 浩司、永田 俊介、宇田川 琢、竹内 麗理、*岡部 達、河野 哲朗、栗原 紀子、*齋藤 真規、玉村 亮、瀧澤 智美、田口 千恵子、*林 佐智代、*横山 愛、青野 悠里、*中山 洋平、*北川 剛至、*石井 良昌、岡田 優一郎、*下坂 典立、塩崎 一成</p>
教科書	各教科の教科書を使用する。 各科目参照。 各科目参照。
評価方法 (EV)	<p>定期試験の成績を評価点とする。定期試験が63点を満たない者に対しては再試験を実施する。ただし、当該学年に配置された全科目のうち、授業時間の1/5以上を欠席した科目が1科目以上ある者は、再試験を受ける資格が与えられない。再試験においても63点を合格点とする。</p> <p>定期試験を欠席し追試験を希望する者は、速やかに正当な理由を証明する書類を提出すること。審議の上、追試験の受験資格の有無を決定する。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>1年次の基礎生命科学、2年次で学修する授業内容について、自身の得意分野、不得意分野を把握すること、また授業を通して、効果的な自学自習の行い方を身につけて欲しい。</p> <p>注意：本講義は、臨床科目（水曜実施）と基礎科目（月曜実施）に分かれる。臨床科目については、教員の歯科医師としての実務経験を生かし、1年次の歯科医学総合講義1の内容をさらに深めていく。基礎科目については各科目のまとめなので、講義開始日を遅らせ10月26日から開始し、1月19, 20, 21日に集中講義を行う。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/09 (水) 1時限 09:30~11:00	歯の変色と審美治療	<p>【授業の一般目標】 歯の審美不良に対して機能的・審美的な回復を図るために、その疾患の原因とどのような治療法を行えば良いのかを推論する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯の変色の原因を説明できる。 3. 歯の変色に対する治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：歯の硬組織欠損や審美不良の改善にはどのような方法があるのか調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：配布プリントを復習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (ピアインストラクション) 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 e 歯の変色・着色</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。</p>	*小峯 千明
2026/09/16 (水) 1時限 09:30~11:00	歯の欠損と審美治療	<p>【授業の一般目標】 歯質と歯の欠損治療と、歯冠補綴治療による審美的位置づけと役割を学び理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の項目を教授する。 2. 歯質の欠損の治療方法を学ぶ。 3. 歯の欠損の治療方法を学ぶ。 4. 臨床で行われる歯冠補綴治療を学ぶ。 5. 補綴治療と審美治療の関係を理解する。</p>	*小林 平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/16 (水) 1時限 09:30～11:00	歯の欠損と審美治療	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：歯の欠損の治療方法について調べておくこと。</li> <li>・事前学修時間：30分</li> <li>・事後学修項目：配布プリントを復習する。</li> <li>・事後学修時間：30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p> <p>プリント・マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>206教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 a 齲蝕の病因</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAMを含む）を説明できる。 ③クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ④クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。</p>	*小林 平
2026/09/30 (水) 1時限 09:30～11:00	歯の痛みと神経の治療	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医療における歯の痛みと神経の治療の位置づけと役割を学び、理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯の痛み発生を説明できる。</li> <li>2. 歯の痛みの伝達を説明できる。</li> <li>3. 歯の痛みの種類を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：歯の痛みと神経について調べておくこと。</li> <li>・事前学修時間：30分</li> <li>・事後学修項目：配布プリントを復習する。</li> <li>・事後学修時間：30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p> <p>プリント・マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>206教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-5) 炎症 ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	*岡部 達
2026/10/07 (水) 1時限 09:30～11:00	歯周病の治療	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医療における歯周病の治療の位置づけと役割を学び、理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科医療における歯周病の治療の位置づけが説明できる。</li> <li>2. 歯科医療における歯周病の治療の役割が説明できる。</li> <li>3. 歯周病の検査方法を列挙できる。</li> <li>4. 歯周病の病態を説明できる。</li> <li>5. 歯周基本治療の種類を目的別に列挙できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：歯周病について調べておくこと。</li> <li>・事前学修時間：30分</li> <li>・事後学修項目：配布プリントを復習する。</li> <li>・事後学修時間：30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p>	*中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/07 (水) 1時限 09:30～11:00	歯周病の治療	<p>プリント・マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 b 歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針 (メンテナンス法を含む) を説明できる。 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p>	*中山 洋平
2026/10/14 (水) 1時限 09:30～11:00	拔牙 (歯を抜く) と手術	<p>【授業の一般目標】 歯科医療における拔牙 (歯を抜く) と手術の位置づけと役割を学び、理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医療における拔牙と手術の位置づけを説明できる。 2. 歯科医療における拔牙と手術の役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 拔牙について調べておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 配布プリントを復習する。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無</p> <p>プリント・マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎 イ 治療の種類 c 保存療法と外科療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-5) 小手術 ①拔牙の適応症と禁忌症 (相対的禁忌への対応及び小手術の適応症と禁忌を含む) を説明できる。</p>	*石井 良昌
2026/10/21 (水) 1時限 09:30～11:00	手術と患者管理	<p>【授業の一般目標】 手術の患者管理と手術の位置づけと役割を学び、理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を伝授する。 2. 手術での患者管理および基本手技について理解する。 3. 手術に際しての全身・局所状態から見た注意点を理解する。 4. 患者へのインフォームドコンセント、手術の適応と時期について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 口腔外科手術での患者管理 基本手術手技について教科書および参考書を熟読する。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 配布プリントを復習する。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無</p> <p>プリント・マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔</p>	*石井 良昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/21 (水) 1時限 09:30～11:00	手術と患者管理	ア 手術 a 手術の適応と時期  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (1) 全身管理 ①バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。	*石井 良昌
2026/10/26 (月) 1時限 09:30～11:00	ガイダンス	【授業の一般目標】 歯科医療における各種の痛みとその原因、対応について概説する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医療における様々な痛みを概説できる。 2. 歯科医療における痛みの役割を概説できる。 3. 侵害受容性疼痛を説明できる。 4. 神経障害性疼痛を説明できる。 5. 痛覚変調性疼痛を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：歯科における痛みについて調べておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：配布プリントを復習する。 ・事後学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無  プリント・マルチメディア  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 206教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 サ 疼痛 c 口腔・顔面領域の疼痛  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ⑨口腔・顎顔面領域の体性感覚の特徴と疼痛を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 田口 千恵子
2026/10/28 (水) 1時限 09:30～11:00	歯科における痛み	【授業の一般目標】 歯科医療における各種の痛みとその原因、対応について概説する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医療における様々な痛みを概説できる。 2. 歯科医療における痛みの役割を概説できる。 3. 侵害受容性疼痛を説明できる。 4. 神経障害性疼痛を説明できる。 5. 痛覚変調性疼痛を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：歯科における痛みについて調べておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：配布プリントを復習する。 ・事後学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無  プリント・マルチメディア  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 206教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 サ 疼痛 c 口腔・顔面領域の疼痛  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ⑨口腔・顎顔面領域の体性感覚の特徴と疼痛を説明できる。	*小見山 道
2026/11/09 (月) 1時限 09:30～11:00	歯の解剖学	【授業の一般目標】 臨床および関連科目を学ぶために必要な歯の解剖学の知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 個々の歯の形態的な特徴を説明する。	塩崎 一成

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/09 (月) 1時限 09:30~11:00	歯の解剖学	<p>2. 歯の左右の違いを説明する。 3. 歯と歯周組織の構造を説明する。 4. 歯列と咬合の形態を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：1年次で学んだ「歯の解剖学」を復習する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：配布プリントを復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントを配布する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の発生・成長・発達・加齢変化 ウ 口腔・顎顔面の成長・発育 a 歯・歯列・咬合の発育（発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ④歯（乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。</p>	塩崎 一成
2026/11/11 (水) 1時限 09:30~11:00	小児の歯科治療	<p>【授業の一般目標】 歯科医療における小児の歯科治療の位置づけと役割を学ぶために、小児における歯列・咬合の発育と異常について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医療における小児の歯科治療の位置づけが説明できる。 2. 歯科医療における小児の歯科治療の役割が説明できる。 3. 小児における歯列・咬合の発育について説明できる。 4. 小児における歯列・咬合の異常について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：乳歯と永久歯が生えてくる年齢と順序を調べる。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：配布プリントを復習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリント・マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論 I 成長・発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療 ア 不正咬合の予防 a 予防矯正、保険（静的咬合誘導）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。 ⑨保険処置の目的、種類、適応症及び留意点並びに保険装置の設計について説明できる。</p>	*清水 武彦
2026/11/16 (月) 1時限 09:30~11:00	医療統計学	<p>【授業の一般目標】 歯科医療において必要な医療統計を修得し説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 疫学研究方法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：疫学研究方法について調べておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：疫学研究方法を復習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリント・マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/16 (月) 1時限 09:30～11:00	医療統計学	<p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ウ 保健医療統計調査 b 歯科領域における保健医療統計・疫学調査</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 歯科疾患の疫学 ①疫学と根拠に基づいた医療&lt;EBM&gt;の概念を説明できる。 ②スクリーニング検査を説明できる。 ③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。 ④診療ガイドラインを説明できる。</p>	*有川 量崇
2026/11/18 (水) 1時限 09:30～11:00	義歯 (入れ歯) の治療	<p>【授業の一般目標】 構音障害の回復を義歯 (入れ歯) の治療を通じて行うために必要な知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科医療における義歯の治療の位置づけを説明できる。 3. 構音・発音の原理を説明する。 4. 構音障害の原因を説明する。 5. 義歯による構音障害の治療について説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 義歯について調べておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 配布プリントを復習する。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 プリント・マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 d 歯の欠如・欠損の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。</p>	*伊藤 誠康
2026/11/25 (水) 1時限 09:30～11:00	口腔インプラントの治療	<p>【授業の一般目標】 歯科医療における口腔インプラントの治療の位置づけと役割を学び、理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医療における口腔インプラントの治療の位置づけを説明できる。 2. 歯科医療における口腔インプラントの治療の役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: インプラントについて調べておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業内容を復習する。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ア インプラント治療の基礎と成績 b 成功基準</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*北川 剛至

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/25 (水) 1時限 09:30～11:00	口腔インプラントの治療	E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) 口腔インプラント ①口腔インプラントの種類、特徴、目的及び意義を説明できる。	*北川 剛至
2026/11/30 (月) 1時限 09:30～11:00	生化学	<p>【授業の一般目標】 前期に終了した生化学の全領域に対する問題を解くことで、再度、理解を深める。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 生体を構成する基本物質について説明できる。 2. 遺伝子や染色体について説明できる。 3. 細胞外基質や情報伝達の機序を説明できる。 4. 炎症の成り立ちを説明できる。 5. 唾液の作用や歯を構成するタンパク質を説明できる。 6. う蝕や歯周病の病態を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：2年次前期で学んだ「生化学」の総復習を行う。 事前学修時間：3時間 事後学修項目：授業配布プリントを見直す。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有；WebClassを利用し出題、結果提示、低正答率問題の学生間議論、正答解説を行う（ピア・インストラクション）。 プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 エ 検体検査の種類 c 生化学検査</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 生命の分子の基盤 C-2-1) 生命を構成する基本物質 ①アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を説明できる。 ④生体のエネルギー産生と利用を説明できる。 C-2-2) 遺伝子と遺伝 ①核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を説明できる。 ②デオキシリボ核酸 (DNA) 複製と修復の機序を説明できる。 ③転写と翻訳の過程と調節機序を説明できる。 ④遺伝性疾患の発生機序を説明できる ⑤遺伝子解析や遺伝子工学技術を説明できる。 C-2-3) 細胞の構造と機能 ③細胞周期と細胞分裂を説明できる。 C-2-4) 細胞の情報伝達機構 ③主な細胞外マトリックス分子の構造と機能、合成と分解を説明できる。 C-5 病因と病態 C-5-5) 炎症 ①炎症の定義と機序を説明できる。</p>	平塚 浩一 竹内 麗理 栗原 紀子
2026/12/02 (水) 1時限 09:30～11:00	矯正歯科治療	<p>【授業の一般目標】 歯科医療における矯正歯科治療の目的と意義を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科医療における矯正歯科治療の目的を説明できる。 3. 歯科医療における矯正歯科治療の意義を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：歯並びについて調べておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：配布資料を復習すること。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリント・マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 成長・発育に関連した疾患・病態 7 矯正力 ア 器械的矯正力</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療</p>	*根岸 慎一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/02 (水) 1時限 09:30～11:00	矯正歯科治療	E-4-1) 不正咬合の治療 ①矯正治療の目的と意義を説明できる。	*根岸 慎一
2026/12/07 (月) 1時限 09:30～11:00	生理学 (第1回)	<p>【授業の一般目標】 臨床および関連科目を学ぶために必要な人体の正常機能についての知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 器官系の分類および役割を説明できる。 2. 恒常性維持における神経系の役割を説明できる。 3. 血液の成分と役割を説明できる。 4. 感覚の種類と伝導経路を説明できる。 5. 恒常性維持における内分泌系の役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：これまでの平常試験に出された問題を復習する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：配布する練習問題を解き、解説を作成する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 練習問題を配付資料としてアップロードしておくので、自力で解いてみること。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系〔骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系〕</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ⑧神経の活動電位の発生と伝導の機序を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ⑨口腔・顎顔面領域の体性感覚の特徴と疼痛を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (9) 内分泌系とホメオスタシス ①内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。</p>	吉垣 純子 加藤 治 *横山 愛
2026/12/09 (水) 1時限 09:30～11:00	スポーツ・睡眠と 歯科治療	<p>【授業の一般目標】 歯科医療におけるスポーツ・睡眠と歯科治療の位置づけと役割を学び、理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医療におけるスポーツ・睡眠と歯科治療の位置づけが説明できる。 2. 歯科医療におけるスポーツ・睡眠と歯科治療の役割が説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スポーツと歯科、睡眠と歯科について調べておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：配布プリントを復習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリント・マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 11 治療の基礎・基本手技 ス 患者管理の基本 c 日常生活動作 (ADL)、手段的日常生活動作 (IADL)、Quality of Life (QOL) の評価</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*鈴木 浩司
2026/12/14 (月) 1時限 09:30～11:00	解剖学 (第1回)	<p>【授業の一般目標】 臨床と関連科目の学習に必要な人体の構造に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/14 (月) 1時限 09:30～11:00	解剖学 (第1回)	<p>1. 全身の骨格系の構造を説明する。 2. 全身の筋系の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：2年次前期で学んだ「解剖学」のうち運動器系の復習を行う。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：配布プリントを使って復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントを配布する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 a 骨・軟骨 (骨の連結を含む)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p>	五十嵐 由里子
2026/12/16 (水) 1時限 09:30～11:00	障害者の歯科治療	<p>【授業の一般目標】 歯科医療における障害者の歯科治療の位置づけと役割を学び、理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医療における障害者の歯科治療の位置づけを説明できる。 2. 歯科医療における障害者の歯科治療の役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：障害者の歯科治療について調べておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：配布プリントを復習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリント・マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 8 障害者の歯科治療 ウ 口腔疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ⑤障害者の置かれた社会環境を説明できる。 ⑦社会環境 (ノーマライゼーション、バリアフリー、quality of life &lt;QOL&gt;) の考え方を説明できる。</p>	*野本 たかと
2026/12/21 (月) 1時限 09:30～11:00	組織・発生学 (第1回)	<p>【授業の一般目標】 人体を構成する細胞・組織・器官の構造を理解する。 人体の発生における組織構造および発生機序を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 人体を構成する細胞・組織・器官の構造や特徴を説明できる。 2. 人体の発生における組織構造および発生機序を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：人体を構成する細胞・組織・器官の特徴および人体発生 事前学修時間：60分 事後学修項目：人体を構成する細胞・組織・器官の特徴および人体発生についての復習 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PPT等</p> <p>【学修方略 (LS)】</p>	岡田 裕之 玉村 亮 河野 哲朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/21 (月) 1時限 09:30～11:00	組織・発生学 (第1回)	<p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 d 組織 [上皮組織、結合 (支持) 組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織]</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (1) 上皮組織と皮膚・粘膜系 ①上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。 ③腺の構造と分布及び分泌機構を説明できる。</p>	岡田 裕之 玉村 亮 河野 哲朗
2026/12/23 (水) 1時限 09:30～11:00	高齢者の摂食と嚥下	<p>【授業の一般目標】 摂食嚥下機能に障害ある高齢者を理解するために、摂食嚥下障害の原因について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者における摂食嚥下機能について理解する。 2. 高齢者における摂食嚥下障害の原因について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 摂食と嚥下について調べておくこと。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 配布プリントを復習する。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 プリント・マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 V 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 7 摂食嚥下障害への対応 (摂食機能療法) ア 治療的アプローチ b 直接訓練</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-1) 高齢者の歯科治療 ⑧摂食嚥下障害の診察、検査及び診断を説明できる。 ⑨摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 ⑩栄養管理や食形態の調整を説明できる。</p>	*林 佐智代
2027/01/19 (火) 1時限 09:30～11:00	医療行動科学 2	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために心理学の役割を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 歯科医学における心理学の役割を説明できる。 3. 記憶について説明できる。 4. 学習の動機付けについて説明できる。 5. 心理検査の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 2年次で学んだ「医療行動科学 2」の復習 ・準備学修時間: 60分 ・事後学修項目: 配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理 b 医療者の倫理 (ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション</p>	*青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2027/01/19 (火) 1時限 09:30～11:00	医療行動科学2	①コミュニケーションの意義、目的と技法(言語的・準言語的・非言語的)を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	*青木 伸一郎
2027/01/19 (火) 2時限 11:10～12:40	微生物・免疫学 (第1回)	<p>【授業の一般目標】 医療従事者として感染症への正しい対処法を身につけるために、病原微生物に対する基本的な知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.病原微生物の種類と特性を説明できる。 2.感染経路、発症機序を説明できる。 3.感染予防対策を説明できる。 4.口腔常在微生物叢を説明できる。 5.口腔常在微生物が全身に及ぼす影響について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:2年次で学んだ微生物学の講義内容の復習 事前学修時間:1時間 事後学修項目:講義の復習 事後学修時間:1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無 学修媒体:マルチメディア、微生物・免疫学講義で配布したプリント</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 キ 感染症 a 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ①細菌、真菌、ウイルス及び原虫の基本的な構造と性状を説明できる。 ②細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。 ③感染症の種類、予防、診断及び治療を説明できる。 ④滅菌と消毒の意義、種類及び原理を説明できる。 ⑤化学療法目的と原理及び化学療法薬の作用機序並びに薬剤耐性機序を説明できる。</p>	泉福 英信 *齋藤 真規 瀧澤 智美
2027/01/19 (火) 3時限 13:40～15:10	微生物・免疫学 (第2回)	<p>【授業の一般目標】 医療従事者として感染症に対する宿主の防御機構についての基本的な知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.免疫担当細胞と免疫応答の種類を説明できる。 2.自然免疫と獲得免疫を説明できる。 3.リンパ球の発生と分化を説明できる。 4.抗原提示と自己免疫寛容を説明できる。 5.粘膜免疫を説明できる。 6.アレルギー疾患と自己免疫疾患の種類を説明できる。 7.免疫不全症を説明できる。 8.ワクチンを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:2年次で学んだ免疫学の講義内容の復習 事前学修時間:1時間 事後学修項目:講義の復習 事後学修時間:1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無 学修媒体:マルチメディア、微生物・免疫学講義で配布したプリント</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 g 免疫系(免疫系担当細胞・臓器、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-2) 免疫 ①自然免疫の種類と機能を説明できる。 ②獲得免疫の種類と機構を説明できる。 ③免疫系担当臓器・細胞の種類と機能を説明できる。 ④抗原提示機能と免疫寛容を説明できる。 ⑤アレルギー性疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。 ⑥免疫不全症・自己免疫疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。</p>	泉福 英信 *齋藤 真規 瀧澤 智美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2027/01/19 (火) 3時限 13:40～15:10	微生物・免疫学 (第2回)	⑦粘膜免疫を説明できる。 ⑧ワクチンの意義と種類、特徴及び副反応を説明できる。	泉福 英信 *齋藤 真規 瀧澤 智美
2027/01/20 (水) 1時限 09:30～11:00	歯科材料学1	<p>【授業の一般目標】 歯科生体材料・歯科材料の種類、組成、性質および取り扱い方について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 金属材料、高分子材料、セラミック材料および複合材料の性質について説明できる。 2. 歯科生体材料・歯科材料の力学的、物理的および化学的性質について説明できる。 3. 印象材の種類、組成および性質について説明できる。 4. 歯科用石膏の種類、組成および性質について説明できる。 5. ワックスパターンの変形の原因およびその対策について説明できる。 6. 歯科用金属の種類、組成および性質について説明できる。 7. 合着・接着用材料の種類、組成および性質について説明できる。 8. 成形修復材料の種類、組成および性質について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科生体材料の種類および取り扱い方について教科書および配布資料で確認し、2年次に学修した「歯科材料学1」の講義内容を復習する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：「歯科材料学1」において配布した講義プリント内の試験問題（主に国試過去問）を解き、選択肢の正誤の理由を整理する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 ア 材料の種類 a 有機材料</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 ②材料の物理的 (力学的性質と熱的性質を含む)、化学的 (溶解性を含む)、生物学的 (生体活性、副作用を含む) 性質とその評価法を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	谷本 安浩 永田 俊介
2027/01/20 (水) 2時限 11:10～12:40	衛生・公衆衛生学	<p>【授業の一般目標】 公衆衛生と地域保健活動を修得して、説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 地域保健活動の概略について説明できる。 2. 健康保持増進対策について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：2年次で学んだ「公衆衛生学」の復習をする。 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 プリント・マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 エ 口腔健康管理 a 口腔衛生管理</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-1 予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 ③プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。</p>	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2027/01/20 (水) 2時限 11:10~12:40	衛生・公衆衛生学	④感染性疾患と非感染性疾患の予防の違いを説明できる。	*有川 量崇
2027/01/20 (水) 3時限 13:40~15:10	薬理学 1	<p>【授業の一般目標】 薬理作用・薬物動態・薬物治療の基盤となる概念について振り返る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. これまで学修した薬理作用・薬物動態・薬物治療の基盤となる概念を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 2年次で学んだ「薬理学1」の復習を行う。 準備学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 a 薬物療法の種類と特徴</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-6 生体と薬物 C-6-2) 薬理作用 ①薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ③薬理作用を規定する要因 (用量と反応、感受性) を説明できる。 ④薬物の連用の影響 (耐性、蓄積及び薬物依存) を説明できる。 ⑤薬物の併用 (協力作用、拮抗作用、相互作用) を説明できる。 C-6-3) 薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 ②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。 C-6-1) 薬物と医薬品 ①医薬品の分類を説明できる。</p>	三枝 禎 青野 悠里
2027/01/21 (木) 1時限 09:30~11:00	生理学 (第2回)	<p>【授業の一般目標】 臨床および関連科目を学ぶために必要な人体の正常機能についての知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 呼吸の調節機構を説明できる。 2. 循環の調節機構を説明できる。 3. 消化・吸収の過程を説明できる。 4. 摂食嚥下の調節機構を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：これまでの平常試験に出された問題を復習する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：配布する練習問題を解き、解説を作成する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 練習問題を配付資料としてアップロードしておくので、自力で解いてみること。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 [骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系]</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 C-3-4) - (10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ②体液の量と組成及び浸透圧の調節機構を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑦下顎の随意運動と反射を説明できる。 ⑨嚥下の意義と制御機構を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官</p>	吉垣 純子 加藤 治 *横山 愛

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2027/01/21 (木) 1時限 09:30～11:00	生理学 (第2回)	C-3-4) - (8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。	吉垣 純子 加藤 治 *横山 愛
2027/01/21 (木) 2時限 11:10～12:40	解剖学 (第2回)	<p>【授業の一般目標】 臨床と関連科目の学習に必要な人体の構造に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 全身の脈管系の構造を説明する。 2. 全身の神経系の構造を説明する。 3. 消化器・呼吸器・泌尿器の構造と機能を説明する。 4. 感覚器の構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 2年次で学んだ「解剖学」のうち脈管系 (循環器系), 神経系, 内臓, 感覚器系の復習を行う。 事前学修時間: 1時間 事後学修項目: 配布プリントを復習する。 事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 プリントを配布する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 a 生体構成成分</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓 (外分泌部と内分泌部) の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。</p>	五十嵐 由里子
2027/01/21 (木) 3時限 13:40～15:10	組織・発生学 (第2回)	<p>【授業の一般目標】 口腔を構成する細胞・組織の形態的特徴を理解する。 顔面および歯の発生における組織構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔を構成する細胞・組織の形態的特徴を説明できる。 2. 顔面および歯の発生における組織構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 口腔を構成する細胞・組織の特徴や顔面および歯の発生における形態的特徴 事前学修時間: 60分 事後学修項目: 口腔を構成する細胞・組織の特徴や顔面および歯の発生における形態的特徴についての復習 事後学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: PPT等</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 206教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 d 組織 [上皮組織、結合 (支持) 組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織]</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 E 臨床歯学</p>	岡田 裕之 玉村 亮 河野 哲朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2027/01/21 (木) 3時限 13:40~15:10	組織・発生学 (第2回)	E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ②口唇と口腔粘膜の分類と特徴を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ①歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口腔・顎顔面領域の発生と加齢変化 ①口腔・顎顔面領域の発生を説明できる。	岡田 裕之 玉村 亮 河野 哲朗